

レファレンス事例 3

英和、和英経済用語辞典について（学生）

〔回答〕

英文の経済書を読むためでしたら、経済学辞典で巻末に欧文索引を豊富に収録しているものを利用されるのが一番よいと思います。その種のものは大学の図書館等にもあると思いますので、ご希望にそってハンディなものを紹介しました。そのさい、経営、貿易用語辞典も含めました。

- (1) オリエンタル・エコノミスト編 経済用語和英辞典

東洋経済新報社 昭38年 546, 80P
2,000円

- (2) 寺沢浩二編 経済英語小辞典

ジャパンタイムズ社 昭和45年 356P
700円

〔英和で暗記本位です。〕

- (3) 日本経済新聞社編刊 経済新語辞典

1970年版 昭和45年 354, 41P 700円
位

〔用語辞典ですが、英文を併記していますので、和英として役立ちます。また巻

末の「時事経済英語集」は暗記本位の英和として役立ちます。〕

- (4) 企業経営協会編 英和和英経営經理辞典
中央経済社 昭和40年 330P 700円

- (5) 羽田三郎編 英和貿易産業辞典 改訂新版

研究社 昭和45年 1,181P 3,000円

〔貿易産業と銘打っていますが、もっと広義の経済全般を含んでいます。和英としては資料(1)がしっかりしていますし、英和としてはこの辞典がもっとも豊富に用語を収録しています。〕

- (6) 中村新吉、服部昌英共編 和英貿易用語辞典

海文堂出版 昭和43年 161P 750円

- (7) グリーンワルド、D. 編 山田雄三等訳
マグロー・ヒル現代経済学辞典 好学社

昭和43年 730P 2,700円

〔経済学辞典ですが「英文目次」 pp. 38-75は英文と訳語が併記されていますし、用語も限定されていますので暗記本位の英和として役立ちます。〕

創刊号目次

「参考書誌研究」の発刊にあたって	松下 健一
田中稲城と帝国図書館の設立	有泉 貞夫
国立国会図書館におけるレファレンスの現状と問題点	土井 稔子
全集叢書細目検索ツール	沢西 良子
地方自治体刊行	
公害関係資料目録稿	佐久間信子・鈴木 明・山田 好延
日本関係欧文図書の本誌	林 泉之介
レファレンス事例 1. 2. 3.	
帝国図書館・国立国会図書館蔵書目録一覧	